

学会発表

(国際学会)

1. Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Yan X, Furue M. Galactomyces fermentation filtrate protects human keratinocytes against oxidative stress induced-cellular senescence via induction of autophagy. 24th World Congress of Dermatology, Milan, 2019/6/10-15
2. Tsuji G. The roles of the AHR-OVOL1 axis in the development of atopic dermatitis. The 44 th Annual Meeting of The Japanese Society for Investigative Dermatology, Aomori, Japan, 2019/11/8-10
3. Miake S, Tsuji G, Takemura M, Nakahara T, Furue M. IL-31/IL-31 receptor alpha interaction augments Th2 cytokine-induced Ccl 17 and Ccl 22 production in dendritic cells. 77th annual meeting of Society for Investigative Dermatology, May 8-11 2019, Chicago, IL, USA.
4. Murata M, Ito T, Yamamura K, Furue K, Tsuji G and Furue M. OVO-like 2/ZEB1 axis inhibits a promotion of actinic keratosis towards squamous cell carcinoma. 49th Annual European Society for Dermatological Research Meeting, Sep 18-21, 2019. Bordeaux, France
5. Murata M, Ito T and Furue M. OVOL2/ZEB1 axis inhibits the development of AK into SCC. 14th Annual Meeting of the Taiwanese Society for Investigative Dermatology, Dec 14-15, 2019. Kaohsiung, Taiwan

(国内学会)

1. 竹内聡、井上慶一、小田真理. 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会難治性成人アトピー性皮膚炎に対する当科でのデュピルマブ使用経験. 2019/11/30, 横浜市
2. 内 博史, 清原 祥夫, 竹之内 辰也, 宇原 久, 古賀 弘志, 山崎 直也. 第35回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 根治切除不能な化学療法未治療の悪性黒色腫に対するニボルマブ (NIV) とイピリムマブ (IPI) 併用第 II 相試験 (最終報告). 2019/5/24. 神戸
3. 内 博史. 第118回日本皮膚科学会総会. 悪性黒色腫の術後補助療法と進行期の治療戦略. イブニングセミナー. 2019/6/7. 名古屋
4. 内 博史. 第118回日本皮膚科学会総会. メラノーマの術後補助療法の変遷と展望. モーニングセミナー. 2019/6/8. 名古屋
5. 内 博史. 第105回日本皮膚科学会大分地方会. 悪性黒色腫治療アルゴリズムのアップデート. ランチョンセミナー. 2019/6/30. 大分
6. 内 博史. 第57回日本癌治療学会学術集会. 皮膚科領域での支持療法. 2019/10/25. 福岡

7. 内 博史. 第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会. ランチョンセミナー. BRAF遺伝子変異陽性メラノーマ進行期の治療. 2019/11/17. 東京
8. 内 博史, 山崎 直也, 横田 憲二, 宇原 久, 吉川 周佐, Anila Qureshi, Veerle De Pril, Jeffrey Weber. 第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会. 根治切除後の悪性黒色腫患者を対象としたnivolumab術後補助療法の第III相試験:3年追跡調査解析. 2019/11/17. 東京
9. 中原剛士、第1回日本アレルギー学会九州沖縄地方会、蕁麻疹、2019/2/16 福岡市
10. 中原剛士、第82回東京都皮膚科医会学術集会 第56回臨床研究会、アトピー性皮膚炎・蕁麻疹診療ガイドライン 2018 -改定のポイントと抗ヒスタミン薬の位置づけ- 2019/3/1 東京
11. 中原剛士、第35回臨床皮膚科医会九州ブロック総会、学術教育講習会ワークショップ 「クリニックに必要な biologics の知識」 アトピー性皮膚炎・蕁麻疹治療の新時代 —生物学的製剤を中心に—、2019/5/19 鹿児島
12. 中原剛士、第118回日本皮膚科学会総会 English session、Perception gap of disease burden and treatment satisfaction of Atopic Dermatitis in Japan, 2019/6/6, 名古屋
13. 中原剛士、第118回日本皮膚科学会総会 ランチョンセミナー、どの治療法を選びますか？ アトピー性皮膚炎の治療法選択、2019/6/8、名古屋
14. 中原剛士、第68回日本アレルギー学会学術大会 シンポジウム9 皮膚免疫アレルギー疾患の展望、アトピー性皮膚炎治療の新時代、2019/6/15
15. 中原剛士、第70回日本皮膚科学会中部支部学術大会、UCTによる慢性蕁麻疹コントロールの適切な評価とオマリズマブ導入のタイミング、2019/10/6、金沢市
16. 中原剛士、第52回日本薬剤師会学術大会 ランチョンセミナー4、皮脂欠乏症治療における保湿外用戦略 ～アドヒアランス向上のための患者指導のコツ～、2019/10/13 下関
17. 中原剛士、第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会 スポンサーードシンポジウム 1、アトピー性皮膚炎臨床アセット 40 ミニッツ —診る・わかる・(治す)—、2019/11/17、東京
18. 中原剛士、加藤則人、片岡葉子、秀道広、佐伯秀久、藤田浩之、有馬和彦、第49回日本皮膚免疫アレルギー学会学術大会、Chen Z, Rossi AB、成人アトピー性皮膚炎患者に対する Dupilumab の国際共同第3相試験(SOLO 1, CHRONCHRONOS):日本人部分集団における部位別解析、2019/11/29-12/1 横浜市
19. 中原剛士、第49回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会 ランチョンセミ

- ナー8、アトピー性皮膚炎のかゆみマネジメントーかゆみ・搔破を理解し、制御するー、2019/12/1、横浜
20. Takeshi Nakahara, Sho Miake, Gaku Tsuji, Masaki Takemura, Masutaka Furue, The 29th Annual Meeting of Japanese Dendritic Cell Society, IL-31/IL-31 receptor A interaction augments Th2 cytokine-induced Ccl 17 and Ccl 22 production in dendritic cells, 2019/6/28
 21. 中原真希子、第 118 回 日本皮膚科学会総会、教育講演 41 痒疹と皮膚そう痒症をどのように診るか？ かゆみのメカニズムは？ 2019/6/6-9 名古屋
 22. 中原真希子、第 37 回美容皮膚科学会、スポンサードシンポジウム 皮膚疾患の予防と治療～美容的視点を加えて～ アトピー性皮膚炎とスキンケア、2019/7/27-28, 熊本
 23. 中原真希子、第 391 回福岡地方会、特別講演 診療エビデンスアセット4 炎症性皮膚疾患の新しい話題～化膿性汗腺炎や乾癬を中心に～、2019/11/23, 福岡
 24. 辻学、第 24 回シンポジウム、アトピー性皮膚炎の病態における Ovo-like 1 遺伝子の役割 アトピー性皮膚炎治療研究会、2019/2/16 大分市
 25. 辻学、第 32 回福岡県臨床皮膚科医会 総会学術講演会、爪白癬の最新の治療について 2019/7/20 福岡市
 26. 辻学 日本臨床皮膚科医会山口県支部総会 爪真菌症の最近の治療 2019/10/20 新山口市
 27. 辻学 第 391 回福岡地方会 乾癬の治療における IL-23 の阻害について考える 2019/11/23 福岡市
 28. 吉田舞子、永井貴子、中原真希子、古江増隆、第 70 回日本皮膚科学会中部支部学術大会、特異な外観を呈したグロムス腫瘍、2019/10/6、金沢市
 29. 工藤 恭子、岡田 純一郎、佐竹 真緒、楠田 剛、古江 増隆. 第 43 回日本小児皮膚科学会学術大会、アトピー性皮膚炎として紹介され診断がついた Noonan syndrome-like disorder with loose anagen hair の一例. 2019/7/20-21, さいたま市
 30. 中村 美沙、堤 碧、柳田 諭、古江 増隆. 第118回日本皮膚科学会総会、当院の入院患者さんにおける Dermatoporosis(皮膚粗鬆症) の有病率と危険因子の検討、2019/6/6-9、名古屋
 31. 栗原 雄一、加藤 美和、塩道 泰子、金城 満、古江 増隆、第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会、紡錘形細胞型有棘細胞癌の 1 例、2019/11/16-17
 32. 伊東孝通 教育講演 色素細胞腫瘍 第 118 回日本皮膚科学会総会 2019/06/07 名古屋市
 33. 伊東孝通 村田真帆 古江増隆 第 118 回 日本皮膚科学会総会 H30 年度日本皮膚科学会 基礎医学研究費(資生堂寄付) 研究結果報告会 2019/6/7

名古屋市

34. 伊東孝通 第71回日本皮膚科学会西部支部学術大会 病理シンポジウム
メラノーマの Real World 2019.09.09 高知市
35. 伊東孝通 第 391 回福岡地方会 診療エビデンスアセット メラノーマの治療
Up-dated 2019/11/23 福岡市
36. 大野麻衣子、伊東孝通、與語晶子、井手剛俊、吉田麻衣子、古江増隆. 第35回
日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、扁平上皮マーカー陽性となり有棘細胞癌を疑
ったが、切除標本で悪性黒色腫の診断に至った1例. 2019/5/24. 神戸
37. 伊地知亜矢子、黒木りえ. 日本皮膚科学会第 388 回福岡地方会 、ゲフィチニブ
中止で改善した紫斑型薬疹の1例. 2019/3/10 福岡市
38. 和田尚子, 内 博史, 古江増隆. 第 37 回日本臨床皮膚外科学会総会・学術大会.
primary dermal melanoma の 2 例. 2019/2/16-17 名古屋.
39. 和田尚子, 内 博史, 古江増隆. 第 36 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会.
binimetinib が原因と考えられた漿液性網膜剥離(SRD)の 3 例. 2019/5/24-25 神
戸.
40. 和田尚子, 内 博史, 古江増隆. 第 118 回日本科学会総会. 趾端型メラノーマ
(ALM)21 例に対する新規治療成績のまとめ. 2019/6/6-6/9, 名古屋.
41. 和田尚子, 内 博史, 古江増隆. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 免
疫チェックポイント阻害薬中止後も CR を維持できたメラノーマ 8 例. 2019/9/7-8.
高知.
42. 和田尚子, 内 博史, 膳所菜保子, 古江増隆. 第 34 回日本皮膚外科学会総会・
学術集会. 右鼠径に発生した endometriosis の 4 例. 2019/9/28-29. 宇都宮.
43. 和田尚子, 内 博史, 古江増隆. 第 83 回日本皮膚科学会東京東部支部合同学
術大会. 太田母斑から発生したと考えられた melanoma の 1 例. 2019/11/16-17.
東京.
44. 小田真理、呉竹景介、竹内聡. 日本皮膚科学会第 388 回福岡地方会 、サルコイ
ドーシスの1例. 2019/3/10 福岡市
45. 小田真理、呉竹景介、竹内聡. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会補体
沈着性の血管炎を併発した梅毒の1例. 2019/9/7、高知市
46. 増田亜希子、河津宗太郎、原田佳代、占部和敬. 日本皮膚科学会第 388
回福岡地方会 、多発性粉瘤が上肢に限局した 1 例. 2019/3/10 福岡市
47. 陣内駿一、平野湧一郎、菅原洋平、小林和馬、山崎直也、浜本隆二、第 1 回 日
本メディカル AI 学会学術集会、褐～黒色調皮膚病変画像の判定システムの開発、
2019/1/25-26 国立がん研究センター研究所
48. 陣内駿一、名嘉眞健太、筒井啓太、水田栄樹、武藤雄介、中野英司、並川健二
郎、高橋聡、山崎直也 第 35 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、当科での皮

膚悪性腫瘍手術の周術期抗菌薬の使用状況、術後感染症の発生頻度について
2019/5/24-5 神戸

49. 陣内駿一、平野湧一郎、菅原洋平、小林和馬、山崎直也、浜本隆二、第 118 回日本皮膚科学会総会 褐～黒色調皮膚病変画像の判定システムの開発
2019/6/6 名古屋
50. 陣内駿一、平野湧一郎、菅原洋平、山崎直也、浜本隆二、第 70 回日本皮膚科学会中部支部学術大会、ホクロに関して行ったインターネットアンケート調査、2019/10/5-6、金沢市
51. 陣内駿一、山崎直也、筒井啓太、名嘉眞健太、水田栄樹、武藤雄介、緒方大、並川健二郎、高橋聡、第 21 回 SNNS 研究会学術集会 当院において異所性にセンチネルリンパ節を認めた悪性黒色腫の症例 2019/10/18 仙台
52. 陣内駿一、平野湧一郎、菅原洋平、山崎直也、浜本隆二、第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会、人工知能を用いた皮膚腫瘍の予測システムの開発とエンドポイントの設定について 2019/11/16-17 東京
53. 隈有希、一木稔生、伊東孝通、中原真希子、桐生美麿、古江増隆、第 391 回福岡地方会、Trichoblastoma の 1 例. 2019/11/23 福岡
54. 小糸 理紗, 一木 稔生, 幸田 太. 第 390 回福岡地方会. Fibrous hamartoma of infancy の一例 2019/9/15 北九州市
55. 濱崎友佳、佐竹真緒、挽地史織、小糸理紗、幸田太、第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会、当科で経験した小児におけるマムシ咬傷の検討、2019/9/7
56. 末永亜紗子、江藤綾桂、中原真希子、吉田舞子、辻学、中原剛士、古江増隆、田邊美香、第 391 回福岡地方会. 頬部紅斑より診断しえた IgG4 関連疾患の 1 例 2019/11/23 福岡.
57. 與語晶子、今村桜子、原田佳代、占部和敬. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会、ソルコーテフによるアナフィラキシーショックの 1 例. 2019/9/7、高知市
58. 挽地史織、佐竹真緒、小糸理紗、濱崎友佳、幸田太. 第 391 回福岡地方会、二次性の好酸球性肺炎を併発した水疱性類天疱瘡の 1 例. 2019/11/23, 福岡市
59. 挽地史織、孤独龍、小糸理紗、森岡友佳、幸田太. 第 391 回福岡地方会、異型線維黄色腫 atypical fibroxanthoma(AFX)の 1 例. 2019/11/23, 福岡市
60. 横手銀珠、古賀哲也. 第 391 回福岡地方会、Granular cell tumor の 2 例. 2019/11/23 福岡
61. 矢野温子、臨床皮膚科学会総会、Nodular cystic basal cell carcinoma の 2 例、2019/4 松山
62. 矢野温子、第 391 回福岡地方会、2013 年 1 月から 2019 年 9 月までの当院入院患者における疥癬 78 症例(75 名)についての検討、2019/11/23 福岡市

63. 佐藤清象、第 388 回皮膚科学会福岡地方会、高齢者の頭頂部に生じた *atypical fibroxanthoma* の 1 例、2019/3/10、福岡市
64. 佐藤清象、第 388 回皮膚科学会福岡地方会、*Indeterminate cell histiocytosis* の 1 例、2019/7/7、久留米市
65. 仲本すみれ、井上寛子、古江増隆. 第 84 回佐賀地方会、当院でのアトピー性皮膚炎に対するデュピルマブの使用経験. 2019/5/12, 佐賀
66. 仲本 すみれ, 大野 麻衣子, 佐藤 友紀, 伊東 孝通, 辻 学, 山田 裕一, 隈有希, 一木 稔生, 古江 増隆. 第 83 回日本皮膚科学会東京・東部支部学術大会、乳房に生じた *spiradenoma* の 1 例. 2019/11/16, 東京
67. 孤独龍、井手豪俊、大野麻衣子、伊東孝通、三苦千景、内博史、古江増隆. 日本皮膚科学会第 389 回福岡地方会左膝蓋部に生じた *Glomus tumor* の 1 例. 2019/07/07, 久留米市
68. 佐竹真緒、工藤恭子、小野山さかの、古野憲司、古江増隆. 第 1 回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方会. *IVIg* (献血ポリグロビン N®) で *DIHS* (薬剤過敏症症候群) に至った小児例. 2019/2/16 福岡市
69. 佐竹真緒、挽地史織、濱崎友佳、小糸理紗、幸田太. 第 391 回福岡地方会. 脂肪腫を思わせたマンソン弧虫症の 1 例. 2019/11/23 福岡市
70. 今村桜子、與語晶子、原田佳代、占部和敬. 日本皮膚科学会第 389 回福岡地方会 エクリン系付属器腫瘍の 2 例. 2019/7/7、久留米市
71. 今村桜子、與語晶子、原田佳代、占部和敬、第 391 回福岡地方会 急性膀胱炎を伴ったアナフィラキシーショックの 1 例. 2019/11/23 福岡市
72. 今村桜子、與語晶子、原田佳代、占部和敬. 第 390 回福岡地方会 プロカルシトニン、プレセプシン上昇を伴った *Sweet* 病の 1 例. 日本皮膚科学会 2019/9/15、北九州市
73. 呉竹景介、小田真理、竹内聡. 第 1 回日本アレルギー学会九州・沖縄アレルギー地方会、花粉・食物アレルギー症候群としての豆乳アレルギーと考えられた一例. 2019/2/16 福岡市
74. 呉竹景介、小田真理、松山友美、佐竹真理恵、竹内聡. 日本皮膚科学会第 388 回福岡地方会、右上肢の運動神経麻痺を合併した帯状疱疹の 1 例、2019/3/10 福岡市
75. 呉竹景介、小田真理、竹内聡. 日本皮膚科学会第 389 回福岡地方会、口唇ヘルペスを契機に *MRSA* による敗血症性肺塞栓症を発症した 1 例. 2019/7/7、久留米市
76. 佐竹真緒、工藤恭子、久保亮治、古江増隆. 第 118 回日本皮膚科学会総会. *Conradi-Hünnerman-Happle syndrome* の一例. 2019/6/6-6/9 名古屋

77. 古江和久, 伊東孝通, 古江増隆. 第 118 回日本皮膚科学会総会. 多毛を伴った eosinophilic panniculitis の 1 例. 2019/6/6-9 名古屋市
78. 古江和久, 伊東孝通, 辻学, 中原剛士, 古江増隆. 第 34 回日本乾癬学会学術大会. In vitro Koebner model からみた乾癬関連 cyto/chemokine の重要性について. 2019/8/30-31 京都市
79. 古江和久, 伊東孝通, 辻学, 古江増隆. 第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 表皮細胞の搔破と局所免疫応答—多分子解析について—. 2019/9/7-8 高知市
80. 古江和久, 伊東孝通, 江崎仁一, 辻学, 中原真希子, 中原剛士, 古江増隆, 第 49 回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会. アトピー性皮膚炎における Th17 細胞浸潤の新しい視点. 2019/11/29-12/1 横浜市
81. 井上慶一, 小田真理, 竹内聡. 第 391 回福岡地方会, セクキヌマブからプロダルマブへのスイッチが奏功した難治性膿疱性乾癬の一例. 2019/11/23 福岡市
82. 田中由香, 内博史, 古江増隆, 第 15 回加齢皮膚医学研究会, Cinnamaldehyde による光老化の抑制, 2019/3/9, 熊本
83. 前原恵里子, 藤本雷, 執行彩希, 坂本幸子, 川崎英史, 白井洋彦, 片岡葉子(大阪はびきの医療センター). 第 476 回 日本皮膚科学会大阪地方会, シタフロキサシンによる光線性白斑黒皮症. 2019/12/7, 大阪
84. 浜野 翔, 西間 大祐, 松崎 寛司, 佐竹 真緒, 工藤 恭子, 柳田 憲一, 手塚 純一郎. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会, マクロゴールアレルギーによりアナフィラキシーを繰り返した 3 歳男児例. 2019/6/14-16, 東京